

## 平成30年度 小平市教育研究発表会

小平市教育研究発表会を2月6日(水)にルネこだいらで開催しました。

### 舞台発表

#### ■特色ある教育活動推進校の取組

| 学校   | 研究のテーマ                    |
|------|---------------------------|
| 七小   | 自ら課題を見付け、主体的に学習に取り組む児童の育成 |
| 十一小  | 生き方を学ぶ「いのちの学習」            |
| 十四小  | 自ら考え、共に学び、高め合う児童の育成       |
| 学園東小 | 運動の楽しさを味わいすんで体を動かす児童の育成   |

#### ■グループ研究校の取組

| 学校   | 研究のテーマ             |
|------|--------------------|
| 全小学校 | 図画工作科教員の授業力向上を目指して |

### 紙面発表

#### ■研究推進校の取組

| 学校 | 研究のテーマ                   |
|----|--------------------------|
| 二小 | 自他を大切に、共に生きる豊かな心をもつ児童の育成 |
| 五小 | 追究する力を高める指導の工夫           |
| 三中 | 夢や希望をもち、生き生きと学ぶ生徒の育成     |

研究を行った学校の成果を市内全校で共有し、小平市の教育のさらなる充実を目指します。

〈指導課〉

## 平成30年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査(東京都教育委員会)結果の概要について

東京都教育委員会では、児童・生徒一人一人の学習状況や学校における授業の改善に役立てるため、小学校5年生および中学校2年生を対象に、平成30年7月に学力調査を行いました。

### ■教科に関する調査

小学校では社会、理科において、中学校では、すべての教科において、都の平均正答率と同等または上回っています。

教科に関する調査は「学習指導要領に関する内容」と「読み解く力に関する内容」の2つがあります。

#### 【学習指導要領に関する内容】

各教科を、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」などの観点で調査しました。

小学校では、社会のすべての観点、中学校では、社会のすべての観点と国語、英語の多くの観点で都の平均正答率を上回っています。

#### 【読み解く力に関する内容】

各教科を、「情報を正確に取り出す力」「比較・関連付けて読み取る力」「解決する力」の観点で調査しました。

小学校では、国語、理科のすべての観点、中学校では、国語、社会のすべての観点で都の平均正答率を上回っています。

### ■意識調査

児童・生徒の学習に対する意識や生活に関する意識及び状況等について調査しました。

| 質問項目                                |     | 小平市  | 東京都  |
|-------------------------------------|-----|------|------|
| 自分のことを大切な存在だと感じていますか。               | 小学校 | 77.8 | 76.4 |
|                                     | 中学校 | 66.2 | 63.4 |
| 授業では、自分の考えを発表する機会がありますか。            | 小学校 | 80.4 | 80.9 |
|                                     | 中学校 | 88.8 | 86.3 |
| 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。 | 小学校 | 88.5 | 85.4 |
|                                     | 中学校 | 91.1 | 85.8 |

※表中の数値は、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」など肯定的な回答の割合を表す(%)

※「太字」は東京都を上回っている数値

今後、各学校では、調査結果から明らかになった課題の解決に向けた主体的・対話的な学習活動の一層の充実を目指して、教育活動を進めていきます。

〈指導課〉

## 「こども110番のいえ」をご存知ですか？

小平市では、警察署、青少対、PTA、事業所などと協力し、「こども110番のいえ」を家庭やお店など1,700か所以上で開設しています。

### ▷どこでわかるの

家庭やお店の入口付近の目立つ場所に「こども110番のいえ」のプレートが貼ってあります。

### ▷どんなときに利用するの

- ・知らない人しつこく話しかけられて不安を感じたとき
- ・知らない人に追いかけられたとき
- ・知らない自動車や自転車がついてきたとき
- ・痴漢や変質者に会ったとき
- ・そのほか、身に危険を感じたとき

### ▷どんな対応してくれるの

- ・避難してきた子どもの安全が確認されるまで保護します。
- ・けがなどがなければ確認し、場合によっては110番、119番通報します。
- ・保護者に連絡します。

※なお、協力者はボランティアですので、不在の場合もあります。

### ▷協力のお願い

各地区の青少対やPTAが、協力者の拡大に取り組んでいます。依頼があったときは、ぜひご協力をお願いします。

### ▷保護者の皆さんへ

新年度を迎えるこの機会に、お子さんと一緒に通学路や遊び場を歩き、「こども110番のいえ」がどこにあるのかを確認するとともに、危険を感じたら、「こども110番のいえ」に助けを求めよう、説明をお願いします。

〈総務部 地域安全課〉



## 青少対が活躍しています！

青少対とは、「青少年対策〇〇小地区委員会」の略称で、小学校通学区域を単位として19の地区委員会があります。学校サポーターの一員として、市と協働し、地域の青少年健全育成の取組を推進しています。

委員として、地域の方、教職員、PTA、民生委員・児童委員、保護司、青少年委員など多くの方々が携わり、活動に参加できる方ならどなたでも委員になれます。

各青少対では、学校などを会場として、「青少対まつり」「キャンプ」「コンサート」「スポーツ大会」「もちつき」「クリーン活動」など、地域に根差した多種多様な行事を開催しており、地域の子どもたちが、いろいろな体験を楽しむことのできる場となっています。

青少対の活動は、地域全体で子どもたちを見守り育む取組で、児童・生徒、保護者、地域の方など、さまざまな世代がつどい、地域のつながりをつくることのできる場ともなっています。

皆さんも青少対活動に参加してみませんか！

各青少対の連絡先や活動などの詳細については、下記にお問い合わせください。

問合せ 地域学習支援課 ☎042(346)9834



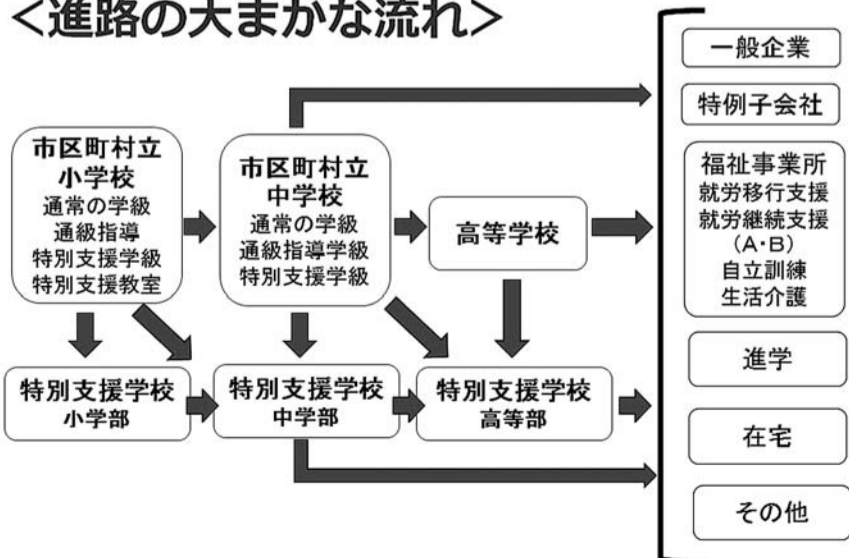
花小金井小青少対どんと焼き当日は、大勢の人が集まり、お団子も飾って盛大に行われました！



## すべての子どもたちが生き生きと育つ小平へ ～小平市の特別支援教育～

今回は、特別な支援を必要とする子どもの進路についてご紹介します。子どもによって、進学や就労など下図のようにさまざまな進路があります。

### 〈進路の大まかな流れ〉



### 【自立と社会参加】

子どもの進路を考える上で、自立と社会参加を目指すことがとても重要です。

子どもが進路を自分で考えて、自立を目指していくためには、自己理解→自己選択→自己決定の流れを経験することが必要です。自己理解とは自分を知ること、自己選択とは自分で選ぶ機会をもつこと、自己決定とは自分で決めることです。自分のことを知り、選び、決める経験を積み重ねることが、自立に向けての第一歩となります。

子どもが社会参加を目指すためには、社会との積極的な関わりが必要となります。その一つに公共交通機関の利用があります。交通手段として積極的に電車やバスを利用することは、社会のルールやマナーを学び、子どもの世界を広げていくことにもつながります。

### 【働く力】

子どもが自立していくためには働く力を身に付けていく必要があります。働く力とは、物を上手に作るができたり、パソコンを扱えたりすることだけではありません。あいさつやコミュニケーションなどの人との関わり方や、身の回りのことを自分でできる力、他者と協力して一緒に活動ができる力、最後までやり遂げる力なども、働くためには必要な力です。

### 【福祉制度】

子どもの自立と社会参加を支えるものとして、福祉制度の活用があります。身近な福祉制度としては、障害者手帳の取得・更新などの手続きがあります。〈指導課〉

※福祉制度については、障がい者支援課☎042(346)9540までお問い合わせください。

